

## シンポジウムの開催報告

### 1 概要

- (1) 件名 横浜の都市デザイン活動の40年とこれから
- (2) 日時 平成23年7月30日(土) 13:00-16:30
- (3) 場所 ヨコハマ創造都市センター3F
- (4) 参加者 学識経験者、専門家、市民、行政職員など 168名(うち聴講者118名)

### 2 主な意見

#### (1) これからの都市デザインに求められること

##### ○コミュニティとのかかわり

- ・人間同士のつながりをつくっていく役割があるのではないか
- ・都市は住む人々のためのものであり生活が中心、投資対象ではない
- ・地域経営のプロとしての市民と空間づくりの専門家、行政のかかわり方
- ・専門家にはハードとソフトの両方を統合していく力が必要
- ・市民が主役で専門家や行政がサポートし地域をマネジメントする仕組みづくりも重要

##### ○多様な議論の継続

- ・かつてより多様な要素が重なってきている
- ・都市デザイン以外の専門性を持つ人々との議論や交流が必要

##### ○推進組織

- ・企業、専門家、行政が連携しかつ自由に活動できるように、行政外部に専門性を持った組織が必要(海外に複数事例がある)
- ・かつてのUDCY(アーバンデザインセンター横浜)のような組織があると良い
- ・日本においては、外部の専門家組織よりも専門家や市民がネットワークを作り事業を作っていく組織があるべきではないか

#### (2) 横浜の都市のあり方に関すること

- ・環境問題には、エネルギーデザインが鍵となり、個別に対処するのではなく都市の作り方やインフラなど都市構造のデザインによって対応していくべきである
- ・天災に対する安全性の前提があり、そのうえで楽しい、美しいまちであることも重要
- ・都市の根源でありながら少し離してきた産業や物流をどうしていくのか
- ・50年後のような長期を見すえた計画は、専門的かつ先鋭的に考えるほかない
- ・六大事業を引き継ぐような新六大事業とは何か

#### (3) 今後の取組

- ・市民、専門家、企業、大学の連携・交流によって広く英知を集め、観光、文化など様々なテーマに対し、新しい都市像を提案・提言していく
- ・人と人とのつながりを豊かにしていくため、地域の魅力を高めていく実践的な都市デザインを強化していく

# [シンポジウム]

## 横浜の 都市デザイン活動 の 40年とこれから

開催日時：平成23年7月30日(土)  
13:00~16:30  
(受付開始12:30)

要 事前申込み(無料)

場所：横浜市中区本町6-50-1  
ヨコハマ創造都市センター 3F

みなとみらい線「馬車道駅」1b出口  
野毛桜木町口  
(アイランドタワー連絡口)

主催：横浜市都市整備局

共催：大学まちづくりコンソーシアム横浜

### プログラム

13:00 開始 挨拶

小松崎 隆 / 横浜市副市長

#### 第1部 | 講演+鼎(てい)談 「都市デザインの40年を振り返る」

講師  
コメンテーター

国吉 直行 / 横浜市立大学特別契約教授  
佐藤 滋 / 早稲田大学教授  
西村 幸夫 / 東京大学教授

14:05~14:15 休憩 (約10分間)

#### 第2部 | ラウンドテーブルディスカッション 「これからの都市デザインが目指す方向」

ミニレクチャー1 50年後の横浜の姿 鈴木 伸治 / 横浜市立大学准教授  
ミニレクチャー2 モビリティデザイン 羽藤 英二 / 東京大学准教授  
ミニレクチャー3 コミュニティデザイン 山崎 亮 / studio-L 代表、京都造形芸術大学教授

スピーカー

佐藤 滋 / 早稲田大学教授  
西村 幸夫 / 東京大学教授  
鈴木 伸治 / 横浜市立大学准教授  
羽藤 英二 / 東京大学准教授  
山崎 亮 / studio-L 代表、京都造形芸術大学教授  
大学まちづくりコンソーシアム横浜委員

横浜国立大学 / 北山 恒・野原 卓  
神奈川大学 / 曾我部 昌史 関東学院大学 / 中津 秀之

特定非営利活動法人 横浜プランナーズネットワーク

山路 清貴 理事長・菅 孝能

ファシリテーター

国吉 直行 / 横浜市立大学特別契約教授

ほか

16:30 終了

\* 終了後、大学まちづくりコンソーシアム横浜による交流会を行います。  
(会費制1000円/人 シンポジウム終了後も受け付けます。)

### スピーカー

佐藤 滋 さとう・しげる  
早稲田大学教授、工学博士

1949年千葉県生まれ。早稲田大学大学院博士課程修了後、早稲田大学助手、専任講師、助教授を経て、現職。都市・地域研究所所長を兼務。主な著書に「図説・城下町都市」(鹿島出版)ほか。日本建築学会賞論文賞、都市住宅学会賞(論説)(ともに2000年)を受賞。

鈴木 伸治 すずき・のぶはる  
横浜市立大学准教授

1968年大阪府生まれ。東京大学大学院修士課程博士課程を経て、同大学助手。関東学院大学工学部土木工学科専任講師、助教授を経て、現職。著書に『創造性が都市を変える』(学芸出版社)ほか。日本都市計画学会論文奨励賞(2003年)を受賞。横浜市創造都市アドバイザー。大学まちづくりコンソーシアム横浜代表委員。

西村 幸夫 にしむら・ゆきお  
東京大学教授

1952年福岡市生まれ。東京大学大学院修了。明治大学助手、東京大学助教授を経て、1996年より東京大学教授、2011年より東京大学副学長。この間MIT客員研究員、コロンビア大学客員研究員、フランス国立社会科学高等研究院客員教授などを歴任。主な著書に「都市保全計画」(東大出版会)他。日本建築学会賞(論文)(1996年)を受賞。

羽藤 英二 はとう・えいじ  
東京大学准教授

1967年愛媛県生まれ。広島大学大学院修了後、日産自動車株式会社総合研究所勤務。愛媛大学助教授、カリフォルニア大学サンタバーバラ校およびネパール工科大学客員教授などの兼任を経て現職。著書に「渋滞緩和の知恵袋成功するP&R失敗するP&Rマーケティングの視点から考える」(共著)ほか。低炭素社会における交通システムを研究。ヨコハマモビリティプロジェクトゼロ交通部門策定アドバイザー。

国吉 直行 くによし・なおゆき  
横浜市立大学特別契約教授

1945年、中国天津生まれ。早稲田大学大学院修士課程修了後、1971年横浜市企画調整局に入庁し、以来一貫して横浜市の都市デザイン行政を担当。都市計画局都市デザイン室長を経て2011年まで上席調査役エグゼクティブアーバンデザイナー。著書に『都市デザインと空間演出』(学陽書房)ほか。

山崎 亮 やまざき・りょう  
studio-L 代表、京都造形芸術大学教授

1973年愛知県生まれ。1999年大阪府立大学大学院(地域生態工学専攻)修了。SEN環境計画室勤務を経て2005年にstudio-L設立。2010年「海士町総合振興計画」「マルヤガーデンズ」「震災+design」でグッドデザイン賞受賞。著書に『コミュニティデザイン(学芸出版社)』、『ランドスケープデザインの歴史(学芸出版社:編著)』、『震災のためにデザインは何が可能か(NTT出版:共著)』などがある。